

坂出市教育委員会点検・評価報告書
(令和元年度事業)

令和2年8月7日
坂出市教育委員会

I. 目的及び制度の概要

教育行政の効果的推進と市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行うものであり、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表するものです。

II. 点検・評価の方法

令和元年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検・評価を実施しました。この点検・評価に際しては、学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「坂出市教育評価委員会」を令和2年8月7日に開催しました。

III. 教育委員会活動の概要

坂出市教育委員会では、主体的で市民に信頼され開かれた教育委員会を目指し、令和元年度において以下の活動を行いました。

1. 委員構成

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会との連携強化とともに、地方に対する国の関与の見直しを図る制度の抜本的な改革として改正されました。教育長は従来、教育委員の中より教育委員会によって任命されていましたが、新制度では市長が議会の同意を得て任命されることとなります。

教育委員会は、教育長と4名の教育委員をもって組織されており、令和2年3月31日現在の委員構成は次のとおりです。

坂出市教育委員会

教育長

委員

委員

委員

委員

國重 英二

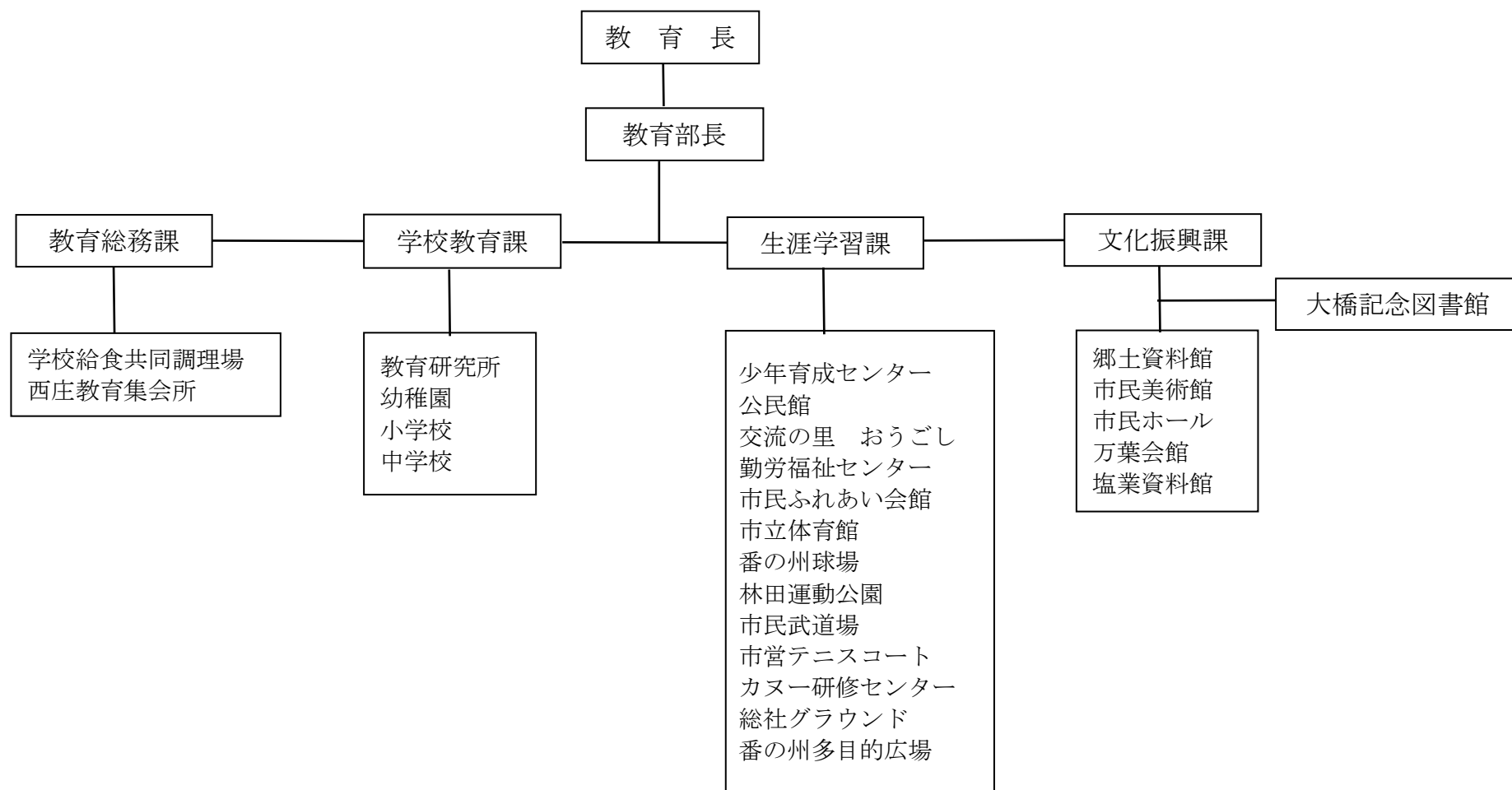
小川 幸彦

高尾 正彦

古田 桂子

漆原 恵子

2. 教育委員会事務局の組織図



3. 教育委員会会議の開催状況

会議は、原則として毎月1回定例会を、また必要に応じて臨時会を開催しており、令和元年度は合計14回開催いたしました。

教育委員会定例会	12回開催	議案59件	報告67件
教育委員会臨時会	2回開催	議案 3件	

4. 総合教育会議

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成27年4月1日から施行されたことに伴い、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るため、同法第1条の4の規定に基づき、市長が設置するもので、協議・調整する項目は以下の点があげられます。

1. 地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定
 2. 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策
 3. 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置
- また、総合教育会議は、市長と教育委員によって構成され、地方公共団体の長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議・調整の場であり、総合教育会議自体は執行機関ではないものとして位置づけられています。

実施日	議 題
9月27日	ネット・ゲーム依存症について、教員の働き方改革について
12月18日	令和2年度教育予算について

5. 教育委員会のその他の活動

①要請訪問

市立幼稚園6園、小学校10校、中学校5校をすべて訪問。

②香川県市町教育委員会連絡協議会委員研修会

日 時 令和元年10月3日
場 所 香川県庁本館12階第1・2会議室(高松市)
出席者 教育長・教育委員2名
研修内容 ・研究討議
・演題「非認知能力を伸ばす子どもへのかかわり」
香川大学医学部 小児科医 鈴木 裕美氏

③市町教育行政意見交換会

日 時 令和元年9月3日
場 所 香川県庁本館12階第1・2会議室(高松市)
出席者 教育長・教育委員3名

④その他教育委員が関わる活動

4月	年度当初校園長会議
5月～6月	幼・小中学校春季運動会
9月	幼・小中学校秋季運動会
10月	幼・小中学校秋季運動会，水のフェスティバルin府中湖，
11月	教育功労者表彰，生涯楽習フェスタ
1月	成人式
3月	幼稚園卒園式，小中学校卒業式

IV. 事業の点検と評価の結果

次ページ以降に，教育大綱に基づく具体的施策の取組状況の点検と，重点目標については委員評価を掲載しています。

●評価基準について

区分	評価内容
A	計画が達成できた。
B	やや問題も残るが，概ね達成できた。
C	課題を残し，目標も十分達成できなかった。
D	課題が多く，具体的成果がなかった。

V. 評価委員の評価基準

●評価基準について

区分	評価内容
S	目標達成以上の効果があった。
A	計画が達成できた。
B	やや問題も残るが，概ね達成できた。
C	課題を残し，目標も十分達成できなかった。
D	課題が多く，具体的成果がなかった。

坂出市教育大綱

基本理念

未来を拓く力をはぐくむ人づくり

基本目標・基本施策

I 生きる力をはぐくむ教育の充実

1. 確かな学力の育成
2. 豊かな心の育成
3. 健やかでたくましい体の育成
4. 特別支援教育の充実
5. 人権・同和教育の推進
6. 幼児教育の充実

II 夢に向かって挑戦する教育の充実

1. 志をはぐくむ教育の充実
2. グローバル社会に対応した教育の推進

III ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実

1. 郷土を愛する心をはぐくむ学習の充実
2. 学校、家庭、地域が連携した教育の充実

IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

1. 保護者・地域に開かれた学校づくり
2. 教職員の資質向上のための研修の充実
3. 安心できる子育て支援環境の整備
4. 魅力ある学校施設の整備充実

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

1. 生涯学習のまちづくりの推進
2. 家庭や地域における教育力向上のための支援
3. スポーツの推進

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

1. 文化芸術の振興
2. 文化財の保護

I 生きる力をはぐくむ教育の充実

① 確かな学力の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
1	基礎・基本の定着と学力の向上	学校教育課	外部人材の有効な活用を図ることで学習意欲を喚起し、学び続ける態度を養う。	<p>①外国語指導助手 小学校外国語，外国語活動，中学校英語の授業にネイティブを指導助手として市内全小学校3，4，5，6年生全学級に月2h，市内全中学校全学級に月1h配置</p> <p>②理科観察実験アシスタント 3年生以上の理科の実験用具の準備，理科室の整備等，理科の授業を充実するため，小学校8校に理科観察実験アシスタントを配置（のべ450h）</p>	平成19年度	
2	さかいでスクールサポートティーチャー派遣事業	学校教育課	経験豊かな退職教員を登録し，学校からの要請に応じて派遣することにより，坂出市立小中学校の学校教育活動のサポートを行い，児童生徒一人一人の学力等の向上に資する。	<p>県内の公立小中学校において，教員として10年以上の勤務経験を有し，教育に熱意を有する退職教員を募り，適当と認められる者を登録し，学校からの要請により派遣する。</p> <p>退職教員は，小中学校において，派遣先小中学校長の指導のもと，学力向上のための授業改善に向けた指導・助言等の活動を行う。退職教員の派遣については，1回当たり4時間以内とする。（のべ1814h）</p>	平成30年度	○ P25

② 豊かな心の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
3	問題行動への対策 (人格形成と規範意識の涵養)	学校教育課	不登校、いじめ、暴力行為等の問題行動や虐待、体罰の未然防止や早期発見、早期対応を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、小中が連携して、児童生徒、保護者、教員の教育相談を行うことで、不登校における対応の充実を図る。また、市内中学校にスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒のおかれた様々な環境に働きかけて支援を行う。 ・いじめについては、定期的なアンケート実施と、教員による観察を強化し、未然防止に努める。また、坂出市いじめ問題等対策連絡協議会において策定された「坂出市いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめを積極的に認知し、適切に対処するよう指導している。 ・虐待については早期発見とともに、関係機関との連携により早期対応を図る。 	平成12年度	○ P26
4	人的支援体制の充実	学校教育課	生徒指導や学校への登校に対し配慮を要する、一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い、学校生活の安定を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒指導補助員 中学生の暴力行為の未然防止、早期発見・早期対応のために、坂出中、東部中、白峰中に各1名の生徒指導補助員を配置 ②不登校対策教育支援センター 坂出中学校に「ふれあいの部屋」、白峰中学校に「であいの部屋」を置き、3名の職員を配置 	<ul style="list-style-type: none"> ①平成19年度 ②平成16年度 	

③ 健やかでたくましい体の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
5	小児生活習慣病対策事業	学校教育課	近年、増加傾向にある小児期の肥満および肥満に起因する生活習慣病の早期発見および予防を目的とする。	<p>市内市立小学校4年生、中学校1年生の全児童生徒を対象に、小児生活習慣病予防健診の血液検査を実施し、当該検査結果を保護者および学校に通知することで児童生徒の生活習慣の見直しおよび改善指導に結びつけていく。令和元年度より小学校4年生時の結果と中学校1年生時の結果を突合し、改善状況を把握する。</p> <p>坂出市小児生活習慣病予防対策委員会を年2回開催し、事前の効果的な啓発資料の作成、血液検査実施および事後の個別指導の内容、検査結果の分析、プライバシーの保護などの解決方を協議する。</p>	<p>平成24年度 (小学4年生)</p> <p>令和元年度 (中学1年生)</p>	○ P27

④ 特別支援教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
6	特別支援教育支援員の拡充	学校教育課	特別に支援を要する、一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い、学校生活の安定と学習・生活両面の基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級及び通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置している。 特別支援教育支援員研修会を幼稚園・小学校・中学校合同で年間2回実施し、発達障がいの状態を踏まえた支援に関する理解が進むよう取り組んでいる。 	平成19年度	
		こども課	特別な支援が必要な幼児一人一人の特性や障がいに応じた支援を行い、その発達を助長する。	<ul style="list-style-type: none"> 各幼稚園の特別な支援が必要な幼児の特性や障がいの状態に応じ、特別支援教育支援員の配置をしている。 年間2回の専門性を高める研修会と月例報告の支援記録を通して、支援に対する悩みの把握や必要に応じて助言をすることで、支援体制の充実につながるよう取り組んでいる。 	平成19年度	

⑤ 人権・同和教育の推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
7	私の考えを語る会 坂出市幼小中幼 児・児童・生徒の 人権展覧会	学校教育課	①私の考えを語る会 市内小中学校の児童・生徒の意見発表の 機会を設け交流を図りつつ、人権尊重意識 の高揚を目指すことを目的とする。 ②坂出市幼小中幼児・児童・生徒の人権展 覧会 市内幼小中の幼児・児童・生徒の人権展 覧会を開催し、人権尊重教育の成果を示す ことで人権尊重の市民啓発を図ることを目 的とする。	①身近な生活体験を通して、人権あるいは人間の生き方 に関する意見を、児童生徒が1題6分以内で発表する。 ②「私の考えを語る会」の開催当日と「人権週間」に合 わせて、市民ギャラリー「かもめ」において市内全幼小 中学校園、特別支援学校および市内4高校（賛助）の作 品を展示する。	①昭和56年度 ②昭和61年度	○ P27
8	人権・同和教育だ より PTA人権・同和 教育研修会	学校教育課	①人権・同和教育だより 坂出綾歌ブロックにおける住民を対象 に、人権意識の向上を目的として実施す る。 ②PTA人権・同和教育研修会 PTAが中心となって人権・同和研修を 企画し、保護者参観日に合わせて講演会・ 研修会を行うことで人権・同和教育に関す る啓発を図ることを目的とする。	①坂出市・宇多津町・綾川町の1市2町の人権・同和教育 担当者、教員等により内容および構成を検討する。本市 においては、12月広報とともに全戸配布している。 ②坂出市立学校の各校とPTAが協力し、保護者を対象 とした人権研修会を企画・実施している。 共働き世帯が増加し、保護者の参加を求めるのが難し い中、開催日を土曜日にするなど少しでも多くの参加を 得られるようPTAおよび各学校で相違工夫をこらしてい る。	①昭和51年度 以前より発行	
9	坂出市同和地区教 育連絡協議会 幼小中人権・同和 教育研究事業	学校教育課	①坂出市同和地区教育連絡協議会 同和地区における幼児・児童・生徒の教 育水準の向上を図ることを目的とする。 ②幼小中人権・同和教育研究事業 幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教 育主任その他の教職員を対象とし、人権・ 同和教育に関する研究を深めることを目的 とする。	①同和地区における幼児・児童・生徒の学習活動の推進 に関し、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校が 校種の垣根を越えて連携を図る。 ②幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教育主任等を対 象に年3回の現地研修、講演、授業・保育研究、各校園の 情報交換等を実施する。	①昭和56年度 ②昭和39年度	

⑥ 幼児教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
10	絵本に親しみ豊かな心をはぐくむ取組	こども課	幼児期から絵本やお話に親しむことの大切さについて幼稚園や家庭に啓発し、生涯にわたっての学習の基盤となる主体性や想像力、知的好奇心や言葉による表現力をはぐくむ。	幼児が絵本やお話に親しむ環境づくりを充実させ、豊かな心や思考力をはぐくむ取組としている。幼稚園や家庭において、絵本やお話に親しむことができるよう、教育課程や指導計画の中に位置付けるとともに、家庭への絵本の貸し出しについても充実できるように、幼児にとって興味・関心のある魅力的な絵本の充実に努めている。	-	
11	幼児ふれあい茶道教室 (文化的・情緒的な体験から心をはぐくむ)	こども課	故大石キヨ子先生の遺志を受け、幼稚園やこども園の5歳児が日本の伝統文化である茶道に親しみながら、茶道作法や情操を養う。	「幼児ふれあい茶道教室」として開催し、平成元年度は第13回を実施した。市内幼稚園・こども園の5歳児が市民ふれあい会館において、裏千家淡交会の指導による茶道教室を体験している。 令和元年度は「きんかこども園」が加わり9園で4席実施し、231名の幼児と教員が参加した。	平成19年度	
12	幼稚園・こども園評価の公表と保護者・地域との連携の工夫と改善(家庭や地域と連携した園づくり)	こども課	保護者や地域との連携を図りながら、地域社会に開かれた信頼される園づくりに努める。教職員の自己評価や保護者や学校関係者評価委員による評価を活かし園経営の改善を行う。	学校関係者評価委員の評価や指導助言及び教職員の自己評価や保護者アンケート(保育参観・各行事等)の評価から、危機管理・環境整備・保育内容の改善に努めている。 家庭や地域との連携を密にできるよう園便り・学級便り等の発行や写真のパネル展示等により、日々の保育の中の子どもの姿等を保護者や地域に分かりやすく伝えられるよう工夫をしている。	平成21年度	
13	子ども発達支援事業(5歳児健康診査・巡回相談)	こども課	幼児の健やかな成長や発達を促すとともに保護者が安心して子育てができるように、学校教育課・こども課・けんこう課が連携して、子育て支援の充実を図る。	①坂出市内の幼稚園・保育所・こども園の今年度内に満5歳になる年中児を健診スタッフが訪問し、一次健診(集団行動観察・個別健診・保護者面談)を行い、その結果に基づいた協議を行うとともに、健診及び保護者面談の結果について各園所に報告を行っている。 ②二次健診で発達相談や就学に向けた教育相談をしたり、5歳児健診票等を教育支援委員会の参考資料として活用したりして、特別な支援が必要な子どもや保護者への、切れ目のない支援につながるよう努めている。 ③健診後、必要に応じ巡回相談や二次健診(発達相談)を実施している。保護者へは子どもの発達特性に応じた相談機関や関係機関等への紹介を行いフォローアップの充実に努めている。	平成24年度	

II 夢に向かって挑戦する教育の充実

① 志をはぐくむ教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
14	さかいで-なかたど-あやうた算数・数学オリンピック	学校教育課	①児童生徒の算数・数学に対する興味・関心を喚起し、学習意欲を高める。 ②考える楽しさを体験し、主体的に学ぼうとする態度を育成する。 ③既習の知識、技能を活用して問題を解決することで、思考力・表現力を高める。	・実行委員会開催（年間2回：学識経験者、保護者、小中学校長会等） ・問題作成委員会開催（年間6回：小中学校教員20名） ・オリンピック実施（R1.7.28坂出中学校） 参加記念バッジを参加者全員に配布 ・表彰式、解説の会（R1.8.18 勤労福祉センター） 金銀銅メダル、優秀賞、エリート賞、アイデア賞、ユニーク賞のべ68名	平成24年度	
15	心をはぐくむ講師派遣事業	学校教育課	社会の様々な分野で活躍している著名人を学校に招いて講演会を開くことで、児童生徒がその生き方に学び、具体的な自分の夢や志を考えるきっかけとする。	市内4校に講師を派遣し、講演会等を開いた。 ・白峰中学校 令和元年11月19日 盲目の語り部竹内昌彦氏 講話 ・瀬居小学校 令和元年12月13日 瀬戸内ゾリステン スクールコンサート ・東部小学校 令和元年12月24日 プロ野球選手松本直樹氏 講話・実技指導 ・瀬居中学校 令和2年 2月21日 香川掃除に学ぶ会による講話と実習 ・松山小学校 令和2年2月中止 カマタマーレさぬき スポーツ指導	平成24年度	○ P28

III ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実

② 学校、家庭、地域が連携した教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
16	家庭・地域との連携と啓発	学校教育課	各学校園の教育活動や情報提供を広く保護者や地域に発信し、学校教育に対する理解・協力を得るとともに、地域社会全体で子どもを育み、学習の深化、安全確保、環境整備等、学校教育の充実を図る。	園や学校の実情に応じて、保護者や地域関係者の教育活動への参加協力依頼を積極的に行う。 ①保育・授業参観 1日または半日のフリー参観を実施（全幼小中）、教育活動への保護者参加も工夫 ②地域学校協働活動推進事業 10小学校1中学校に、1校につき1名のボランティアコーディネーターを配置し、支援ボランティアが読み聞かせ、ゲストティーチャー、立哨、環境整備等の活動を行う。 ③コミュニティ・スクール導入事業 2小学校1中学校をコミュニティ・スクール導入推進校として先行的に実施し、令和元年度において市内全小中学校において学校運営協議会の設置が完了した。 ④広報活動 学校だより、アンケート調査、ホームページ開設、メール配信等の実施	②平成27年度 ③平成29年度	

IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

① 保護者・地域に開かれた学校づくり

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
17	学校関係者評価委員会・学校経営支援委員会 (信頼される学校づくり)	学校教育課	各学校の学校評価（自己評価と学校関係者評価）について、専門的、客観的立場から評価し、指導・助言を行うことで、各校の学校運営の充実に資する。	各学校で管理職等による校内評価委員会は「自己評価書」を作成し、保護者および学校関係者からなる学校関係者評価委員会に提出する。 学校関係者評価委員会での協議を基に学校が作成した「学校評価書」について、学校経営支援委員会を開き、学識経験者、保護者代表4名が第三者評価を行い、その助言・指導を各校の学校運営の充実に資する。	平成21年度	

② 教職員の資質向上のための研修の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
18	教育研究所の研究・研修事業 (信頼される学校づくり)	学校教育課	新学習指導要領の理念に則し、学校、その他教育関係機関との連携のもとに教育研究所の4部会において、理論・実践の両面から調査研究を推進し、本市教育の充実・発展と教員の資質・能力の向上に資する。	①学校人権・同和教育啓発資料作成部会 「人権・同和教育をすすめるために」研修資料作成 ②不登校・特別支援教育部会 人との絆を深め、自尊感情を高める支援の在り方を探る（フレンドシップ夏の集い、クリスマスの集い） ③学校教育課題部会 小学校プログラミング教育の在り方 ・必修化に伴うICT環境整備事業との連携と授業実践への備え（年間指導計画の作成、実践事例） ④若年教員研修部会 熟練教員の指導力を若年教員へ継承する「若い教師の研修会」の開催 ・小学校「図画工作」の教材研究 ・小中学校「特別の教科道徳」の授業づくり（講話・演習） ・子どもに寄り添う学級経営・生徒指導（講話・座談会）	昭和55年	

③ 安心できる子育て支援環境の整備

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
19	放課後子ども教室 推進事業	教育総務課	小学校において、放課後や週末に小学校や地域の公民館などを活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設けるとともに、地域の方々の参画を得て、子どもたちと地域住民との交流活動の取り組みを実施することで、心豊かな育成環境づくりの推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 金山地区 テニス教室 21回 236人 そろばん教室 12回 142人 ボール運動教室 5回 126人 パステルアート教室 2回 16人 集団宿泊体験学習 1回 16人 お菓子、料理教室 1回 17人 華道教室 2回 8人 西庄地区 自主学習 21回 197人 ボール運動教室 22回 205人 絵画教室 1回 10人 <p>※新型コロナウイルス感染症対策により、3月の行事は中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> 金山地区 楽しく防災 1回 島めぐり 1回 西庄地区 自主学習 2回 ボール運動教室 2回 	H21年度	
20	放課後児童健全育 成事業（仲よし教 室）	教育総務課	小学校に就学している1年生から6年生までのうち、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等に適切な遊び・生活の場を提供することにより、児童の健全な育成と子育て支援の充実を図る。	<p>昭和48年度に旧西部小学校に設置して以来、順次、設置校を拡大し、9校で17教室を開室している。</p> <p>環境整備の主なものとして、林田小学校仲よし教室Bにおいて空調機取替工事を実施した。</p> <p>3月には新型コロナウイルス感染症対策により学校が臨時休業となったが、仲よし教室は長期休業期間と同様の体制（午前8時～午後6時）で開室した。なお、予定より長時間子どもを預けた場合の追加の利用料は、保護者に負担を求めている。</p> <p>また、令和2年度からの運営の民間委託への準備として、事業者選定・業務引継を行った。</p>	S48年度	

④ 魅力ある学校施設の整備充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
21	学校給食センター整備運営事業	教育総務課	本市の新しい学校給食の拠点施設として、衛生管理基準を満たし、安全・安心でおいしく栄養バランスを考慮した学校給食の提供や食育の推進を図るために学校給食センターを建設する。	学校給食センターの整備について、民間事業者を活用した事業として実施することとしており、その民間事業者を選定し契約までを行うために、アドバイザー契約を結び、関係資料等の作成を進め、事業用地の選定を行った。また、PFI法に基づき、VFM算定基準となる事業費の積算を行った。	H29年度	○ P29
22	小・中学校施設整備事業	教育総務課	学校施設は、日常において子どもや教職員の生活の場であるとともに、災害時には地域住民の避難場所としての役割を担う。構造体の耐震化が完了した現在は、非構造部材の耐震化を進めるとともに、プールの改修、便所改修など、教育環境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・非構造部材耐震化工事（松山小、瀬居小、金山小）60,874千円 ・プール改修工事（加茂小）22,299千円 ・便所改修工事（瀬居小、府中小）54,326千円 ・ブロック塀改修工事（東部小・府中小）6,908千円 ・屋上防水等改修工事（白峰中）57,513千円 	-	
23	小学校教育用ICT環境整備事業	教育総務課	平成25、26年度に整備した「小学校PC教室パソコン」の更新にあたり、文部科学省の推進する新学習指導要領の実施を見据え、「平成30年度以降の学校におけるICT環境整備の方針」に則り整備を図る。	<p>学習者用コンピュータをタブレット端末へ整備更新するとともに、タブレット授業に適した学習支援ソフトを導入することにより、次期学習指導要領を見据えた教育課程の確実な実施と授業における活用の輪を広げ、一人一人の確かな学びの実現を図れた。教師用162台、児童用288台整備。</p> <p>また、国のGIGAスクール構想実現に向けた動きを注視し、補助金の確保に努めた。</p>	R元年度	○ P29
24	学校再編整備事業	教育総務課	次代を担う子ども達の教育効果を第一に考え、最適規模の学習集団を編成し、学校が学校として最大限の機能を発揮できる教育環境整備を図る。	令和2年度までに学校施設の長寿命化計画を策定することが求められており、長寿命化計画策定業務を委託し、調査に着手した。児童・生徒数の動向を踏まえ、学校施設の再編整備について、令和2年度には、調査結果を踏まえ、教育委員会内および庁内で検討を進める予定。	-	

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

① 生涯学習のまちづくりの推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
25	女性セミナー	生涯学習課	高齢化社会を迎え、長い人生を自分らしく豊かに、いかに生きるかについて、楽しく学習していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・「たつきゅうさんのユーモアセラピー」 350名 ・「鬼の平蔵 悪世を救う」 244名 ・「健康に暮らすために！！」 240名 ・「片づけだって楽しもう！！」 258名 ・「サクセス演奏会」 260名 ・「特殊詐欺などの被害防止のお話」 210名 ・「生きる作法・死ぬ作法」 231名 ・「心とからだのヘルスプロモーション」 213名 ・ふるさと探訪 「さかわ上町江戸時代の町並み散策」 252名 「瀬戸内国際芸術祭2019見学」 189名 <p>※計 講演8回、現地学習2回 合計10回 2,447名</p>	-	
26	中央公民館市民講座	生涯学習課	市民に対し生涯学習の充実と学ぶ喜びの享受	<ul style="list-style-type: none"> ・つるとラタンのバスケットリー 190名 ・ふるさとの民謡 438名 ・漢字書道 574名 ・リトミック 245名 ・山野草 238名 ・陶芸 353名 ・男性料理 384名 ・女性料理 267名 ・太極拳 217名 ・絵手紙 467名 ・げんだい書 459名 ・パソコン 345名 全12講座 4,177名 	昭和42年度	
27	働く女性の家講座	生涯学習課	働く女性を対象に、女性のたしなみと教養など資質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・英会話 178名 ・健康美 665名 ・やさしいヨガ 304名 ・ちぎり絵 189名 ・スローエクササイズ 667名 ・カントリークラフト 229名 ・初心者の手編み 270名 ・フラダンス 207名 ・煎茶と礼法 105名 ・着装とマナー 158名 全10講座 2,972名 	昭和52年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
28	生涯学習フェスタ	生涯学習課	生涯学習活動をされている団体の発表・展示の場を設けることにより、生涯学習の一層の振興に資し、まちづくり、人づくりを進める。	中央公民館と勤労福祉センターを会場に「生涯学習の発表の場」として、公民館講座（地区館も含む）や働く女性の家講座、公民館や勤労福祉センターなどで活動している自主グループの方の発表・展示および体験教室を行うなど、本市生涯学習の推進を図る。 合計参加者数 4,087人	平成28年度	○ P30
29	交流の里 おうごし	生涯学習課	旧王越小学校を、主に青少年や社会教育団体を対象とした宿泊型野外活動施設として平成29年度より開設し、王越地区のにぎわいづくりや地域交流の場として交流人口の増加を図る。	平成27年度に基本・実施設計を、平成28年度には改修工事を行い平成29年度に開設した。平成30年度においては、要望の出ていた宿泊室へのエアコンの設置を行なった。 利用者数 3,108人	平成29年度	○ P30
30	親子向け・子ども向け講座	生涯学習課	土曜日（休日）の過ごし方の一つとして、子どもたち（親子）の学習の場、および、ともに汗を流す場を提供する。他の学校へ通う子どもたちとの出会いもあり、学校とはまた違う体験ができ、新たなものへの知識欲、人への思いやり、郷土愛など身につけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ●さかいでっこ探けん隊 計17回（500名） ・手作り工作系 5回（172名） ・体験学習系 10回（274名） ・運動系 2回（54名） ●さかいでっこガイド隊 計5回 隊員7名 参加者91名 ●チャレンジ！ニュースポーツ講座 計5回 278名 ●学ぶ！未来のトンボ学校 計5回 128名 内容（図工、家庭、理科） ●自然観察会 計1回 43名 ●SOMP0ボールゲームフェスタin坂出 計1回 252名 「ボールであそぼう」親子対象で様々なボールを使って体を動かす。 「キッズチャレンジ」小学生が対象でラグビー、バレーボール、ハンドボール、バスケットボールの4種目を体験する。 	平成15年度	
31	人権学習講座	生涯学習課	人間の尊厳と人権の確立をめざして、家庭・学校教育をはじめとするいろいろな分野での人権問題を解決する手立てを学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「同和問題を正しく理解するために」 54名 人権課主幹 堂尾 勇 ・「おはなしコンサート」 60名 糸川齡子、大石三根子 ・「江戸城無血開城の二人」 47名 歴史研究家 上原 敏 ・「大切なわたし 大切なあなた」 59名 音楽療法士 児玉令江子 	-	

② 家庭や地域における教育力向上のための支援

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
32	坂出市成人式	生涯学習課	大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い励ますとともに、青年が社会のために尽くそうとする考えを持ってもらうとの趣旨から成人式を行なう。	<p>市民ホールの特設会場に併し、令和2年の成人式については、坂出市立体育館にて開催。式は祭典と式典に分かれており、各地区から成人代表（12名）が作り上げるはたちの祭典では、新成人代表による司会進行をはじめ、幼少期からのスライド映像と中学校時代の恩師からのメッセージを上映する。また、式典では、市長・議長・国会議員からのお祝いのことば、記念品贈呈、成人のことばなどを行なう。</p> <p>※成人式までに、各地区からの新成人代表12名は7月より毎月1回程度会を開き、成人式の内容等について話し合う。</p> <p>参加者数 404名（男性202名、女性202名）</p>	昭和25年度	
33	婦人団体育成	生涯学習課	婦人団体連絡協議会は、女性の教養を高め、生活の刷新を図るとともに、地域社会の発展と福祉を増進することに努め、あわせて会員相互の親睦を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区における子どもやお年寄りの見守り ・ 生活文化展 ・ 地区敬老会 ・ 日赤・防災活動 ・ 市の行事の手伝い ・ その他数多くのボランティア活動 <p>11団体 会員数4,378名</p>	-	
34	子ども会育成	生涯学習課	少子化や地域社会のつながりの希薄化のなか、子ども会行事を通じて、地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶなど、楽しい子ども会行事を通じて、地域に愛着をもち、誇りに思う子どもの育成を行う。	<p>地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶ場を提供するとともに、地域の伝統行事などに子ども会活動を通じて参加する。</p> <p>ゆめ活動委託料・花いっぱい運動委託料・市子連活動補助金・地区子ども会活動補助金・ふるさとの親子まつり補助金・わんぱくゲーム大会補助金</p> <p>40団体 会員数1,106名</p>	-	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
35	青色パトロール運行活動事業	生涯学習課	登下校中の子どもが被害に遭う犯罪の抑止に努めるとともに、地域の安全・防犯意識の向上を図り、地域ぐるみで安全・安心なまちづくりを推進することを目的とする。	本市では、少年育成センター公用車による青色防犯パトロールを午前・午後の2回実施しているほか、市内7団体の自主防犯団体が地域で行う青色防犯パトロール運行活動事業について補助金を交付することにより、安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現を図っている。また、青色防犯パトロール団体情報交換会を開催し、パトロール活動についての研修とともに、情報や課題を共有し意見交換を行っている。	平成21年度 (補助制度創設)	○ P31
36	地域育成活動事業	生涯学習課	地域における健全育成と団体の育成に努める	市内11地区の青少年健全育成町民会議が実施する非行防止・広報啓発・環境浄化活動や地域で進める子ども体験活動に対して助成することにより、各地区の町民会議の事業活動への連携を強化して、地域の「みんなで子どもを育てる」育成活動の充実を図った。	平成13年度	
37	地域育成活動事業	生涯学習課	地域における健全育成と団体の育成に努める	市内11地区の青少年健全育成町民会議が実施する非行防止・広報啓発・環境浄化活動等に対して助成することにより、各地区の町民会議の事業活動への連携を強化して、地域育成活動の充実を図った。	平成13年度	

③ スポーツの推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
38	市内三校高等学校 野球定期戦大会	生涯学習課	青少年たちの持つ無限の可能性と協調の精神を養い、野球スポーツを計画的・継続的に実践し、それによって青少年の健全育成と体力の向上に努める。	市内の高等学校3校（坂出高校・坂出商業高校・坂出工業高校）による硬式野球リーグ戦を実施する。 3高校 約100名	昭和27年度	
39	総合型地域スポーツクラブ支援事業	生涯学習課	国のスポーツ振興基本計画に沿った、生涯スポーツ社会の実現を図るため、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する総合型地域スポーツクラブの支援を行う。	アウトドアスポーツとして、「ナイトハイク」や「里山ハイキング」等の「ウォーキング」を中心とした行事を行っている。 また、インドアスポーツとしてカラーリングやスラックライン教室、アジャタ大会の開催や、ラジオ体操大会への参加も行う。 9行事 663名	平成21年度	
40	ラジオ体操普及推進事業	生涯学習課	いつでも・どこでも・誰でもができるラジオ体操を普及推進し、市民の健康増進や、地域間交流及び家族間交流の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・地区巡回で「坂出市ラジオ体操大会」の開催 ・夏休みの最初の一週間に実施するラジオ体操週間 ・市役所本庁舎、合同庁舎、教育会館の始業前のラジオ体操放送 ・各地域に拠点となるラジオ体操広場を設置し、毎朝6時30分からラジオ体操放送 7ヶ所にて実施	平成25年度	○ P32

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
41	カヌーのまちさかいで推進事業	生涯学習課	<p>カヌー競技の普及、競技力の向上や、スポーツへの関心を高めることによる生涯スポーツの推進、地元からのオリンピック選手の輩出を目指す。</p> <p>また、2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致に取り組み中で、府中湖カヌー競技場を世界に向け発信し、本市の活性化やにぎわい創出に繋げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・競技の普及と競技力向上 ・東京2020オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致 ・府中湖カヌー競技場の整備 ・全中カヌー・カヌースプリント・カヌースプリントジュニア・府中湖レガッタ・パラカヌー海外派遣選手選考会などの開催 	平成27年度	○ P32
42	ふるさと坂出スポーツ大会	生涯学習課	<p>四半世紀に渡り開催してきた瀬戸大橋駅伝競走大会に替わる事業として、市民の健康づくりと生涯スポーツの普及を目指し、地域における体育活動の活性化とスポーツ・レクリエーションでだれもが明るく豊かで活力のあるふるさとづくりを行うことを目的に開催。</p>	<p>各地区でチームを構成し、競技成績により順位・得点を付ける得点競技と、いくつかの行事への参加人数等によって、地区毎に得点を加算する参加点競技により総合得点を競う。</p> <p>得点競技 アジャタ、地区対抗レクリエーション 参加点競技 ラジオ体操、老人クラブスポーツ大会</p> <p>12地区 596名</p>	平成28年度	

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
43	図書館施設整備事業	文化振興課 図書館	築年数の経過に伴い老朽化が進んでいる図書館を安全、安心して利用できることを最優先に改修を行い、施設全体の維持管理、利用環境の整備を行う。	図書館駐車場等整備工事ほか施設改修工事 駐車場整備工事 25,351千円 駐輪場解体撤去工事 1,408千円 多目的トイレ改修工事 735千円 防犯カメラ設置工事 251千円	昭和54年度	○ P33
44	資料収集・情報提供事業	文化振興課 図書館	いつでも、どこでも、誰でもが、暮らしに役立つ様々な情報提供サービスを受けられるように努める。本と人、人と人が出会うことで地域のコミュニティの活性化を図り、本を仲立ちにした子育て支援やまちづくりを推進する。	地域の情報拠点として、多様な市民の要求に応えられるように図書、記録、その他必要な資料を収集し、整理し、保存に努める。特に地域資料や行政資料に関しては、郷土資料として積極的に収集し、永年保存する。 また、様々な機関と連携して幅広い情報提供を行う特集コーナーを設けるなど、地域の課題解決に役立つ資料展示を行う。	昭和54年度	
45	広報・啓発事業	文化振興課 図書館	図書館の利用と読書活動の啓発を促すため広報活動を行う。	パネル展示や企画行事を開催し読書機会の創出に努め、読書啓発活動を行う。新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミやホームページを活用するなど様々な方法により情報提供を行う。 春の読書週間 講演会 参加人員 60人 秋の読書週間 講演会 参加人員 72人 「録音の会」 参加人員 68人 「一箱おすすめ本展」「ものがたりの中のせとうち」 「教科書展示」「わたしの本棚」「さかいでの創業支援フェアパネル展」「オレンジリボンキャンペーン展」 他毎月展示を行う。 広報さかいで、KBN、FMサン、図書館報、HPにより行事等の情報を発信。	昭和54年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
46	子ども読書活動推進事業	文化振興課 図書館	すべての子どもが、いつでも、どこでも本と接することができる環境整備を行う。子ども行事や講師を派遣する出前授業を開催し読書機会の提供に努める。子どもの成長に関わる、様々な人や組織が連携して読書活動の推進に努める。	坂出市子ども読書活動推進計画（第3次）に基づき、学校や関連部局と連携しながら子どもの読書機会の提供、保護者への啓発活動を行う。ボランティアと連携して行事を開催すると共に、ボランティアの資質向上のための育成講座を行う。 「ボランティア育成講座」 参加人員 72人 「ブックスタート」 参加人員288人 絵本贈呈率100% 「紙芝居の会」 参加人員117人 「わらべうたであそぼう」 参加人員303人 「ゆりかごおはなし会」 参加人員55人 「天体観察会」 参加人員223人 「外国語絵本よみきかせ」 参加人員106人 「出前授業」（白峰中、林田幼） 参加人員229人 「朗読の時間」（坂出工業） 参加人員386人 児童書年間貸出数 R元年度 171,981冊 数値目標 200,000冊	平成18年度	○ P33
47	市民美術館企画展事業	文化振興課 市民美術館	市民に質の高い芸術・文化に触れ合う機会を提供するとともに、いろいろな展覧会事業を通して、市民一人ひとりが豊かな創造力や感性を育み、心にゆとりと潤いを持ち、特色ある地域文化の創造が図れるよう、芸術文化の振興に努める。	瀬戸芸関連事業として、郷土の作家シリーズ⑨「南条嘉毅-透ける表層・漂う大地」を企画、坂出の製塩の歴史を題材にしたインスタレーション（空間芸術）は塩業資料館の協力を受け、光や映像などで塩づくりの歴史を回想させる仕組み。他に「時間と結晶」の部屋「風景をめぐる」部屋などを実施。 継続事業では「写真コンクール・書道・ナイーブアート・児童絵画・障がい者アート・現代仏像彫刻」等を紹介。 教育普及活動として、ワークショップや美術館セミナー、ギャラリーコンサート等を実施。	昭和61年度	○ P34
48	万葉企画事業	文化振興課	万葉集にも詠われた沙弥島を舞台に、柿本人麻呂が過ごした時代に思いをはせ、万葉の島である沙弥島に親しんでいただく。また、特色ある地域文化の保存、継承に努める。	柿本人麻呂の歌を陰刻した茶器を用いた煎茶による「万葉茶会」や、伝統文化の人形浄瑠璃公演の他に、万葉研究の第一人者である中西進氏による万葉集にまつわる講演会や、本市出身の藤本勝美女氏の万葉に因んだ模写絵の展示等の企画事業を開催しながら貸館事業を行った。 ・4月29日 第32回狭岑島万葉茶会（850人） ・8月1日～3日 風待ちかざりをつくろう（17人） ・9月28日「老人と宇宙少年」（65人） ・11月25日「中西進万葉集講演会」（260人） ・3月14日～28日 藤本勝美女絵画展（322人）		

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
49	坂出歴史文化講座 (レキブンコウ)	文化振興課	本市に関わる歴史・文化・芸術方面にわたって学んでもらう講座を行い、古き良き坂出を知ってもらう。	近年の戦国ブームに合わせて本市ゆかりの戦国武将仙石秀久に着目し、戦国時代の甲冑を手作りする講座を開催し、受講生らによる九州征伐出陣の様子を再現する戦国イベントを開催し、本市の隠れた歴史をPRした。 <ul style="list-style-type: none"> ・5月26日, 6月9日, 23日「甲冑講座①兜編」(36人) ・7月7日, 14日, 28日, 8月11日「甲冑講座②鎧編」(37人) ・9月1日, 15日, 29日「甲冑講座③小具足編」(43人) ・10月27日「さかいでセンゴク歴史絵巻」(70人) ・3月29日「甲冑講座第二期生作品展示会」(93人) 	平成25年度	
50	文化芸術事業	文化振興課	万葉会館, ふれあい会館等の文化施設を活用しながら, 市民の方々が文化芸術に親しむことができる機会の創出に努め, 文化振興を図る。	作詞家, 小説家の森浩美氏主宰の朗読演劇「家族草子」の公演とワークショップを開催し地域演劇の振興を図った。 また, 美術館の展覧会と併せて本市出身の電子オルガン奏者入谷麻友氏を招き「ギャラリーコンサート」を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・7月13日 演劇プチ大学「家族草子」(18人) ・10月19日「入谷麻友電子オルガンリサイタル」(69人) 	平成26年度	○ P34
51	市民ホール改修事業	文化振興課	平成31年3月31日に休館した市民ホールについて, 今後, 概ね20年の利用が可能な改修工事を, 令和2~3年度で実施し, 早期の再開を目指す。	【基本設計】 休館の直接的要因である特定天井の耐震対策・舞台照明設備の改修・地下水湧水対策と, 舞台スノコ天井の耐震補強や空調機更新, 高圧ケーブル更新など市民ホール再開に不可欠な改修に必要な概算事業費を算出した。 【実施設計】 基本設計で策定した方針にトイレ洋式化や給水管更新など施設の利便性と機能性を向上する改修を加えた工事内容と工事費を確定させ, 詳細図, 設計図, 仕様書, 工程表など, 改修工事を実施するための設計業務に着手した。	平成31年度	

② 文化財の保護

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
52	塩業資料館児童校外学習見学事業	文化振興課	坂出の歴史に深く関わった塩田や久米通賢について学んでもらうため、市内の公立小学3,4年生等を対象に、塩業資料館の学習見学を実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習（金山小学校ほか6校 300人） オリジナルテキスト「塩のひみつ」を利用し、市内の小学3・4年生を対象に1時間程の見学を実施。当時の塩業作業等を実見している方を講師に塩業の歴史、塩と坂出市との関係を学ぶ校外学習としている。 ・「土絵具で絵を描こう」7月28日（11人） 本市出身の現代アーティスト南条嘉毅氏を講師に招き、本市塩田跡の土や富士山、信濃川など日本各地の土を使ってステンシルで絵を描くワークショップを行い、塩業資料館の周知に努めた。 	平成25年度	
53	坂出市内遺跡発掘調査事業	文化振興課	坂出市内における遺跡の踏査、土木工事などに先立つ試掘調査および遺跡の範囲確認調査、また工事の際における現場での立会などを行い、貴重な埋蔵文化財を保護する。	土木工事や民間施設の建設工事等に先立ち、工事立会、確認調査を実施し、埋蔵文化財の保護を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護法第93条関係 1件 ・文化財保護法第94条関係 6件 	平成3年度	
54	讃岐国府跡探索事業	文化振興課	平成25年2月に府中町本村地区に讃岐国府跡の所在が確定されたことから、調査指導専門委員会を開催し、具体的に調査内容等の検討を進め、国の史跡指定を目指す。また、保存活用検討会議を開催し、今後の讃岐国府跡の保存、活用方法を検討する。	<p>令和2年3月10日付け官報告示により讃岐国府跡が史跡に指定。</p> <p>【讃岐国府跡保存活用検討会】 国指定史跡となった讃岐国府跡の保存活用計画を策定するため、発掘調査内容や成果の専門的な検討を行った。（8月19日、12月20日）</p> <p>【讃岐国府跡調査指導専門委員会】 讃岐国府跡と開法寺跡発掘調査区域の検討。調査後半にて調査状況の確認と成果を検討した（7月30日、1月29日）</p>	平成26年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
55	文化財保護管理活用事業	文化振興課	坂出市内にある指定文化財周辺の管理（主に除草）を実施すること。また、市内の文化財所有者や保護団体に、保存、管理、活用に必要な費用を補助することを通じ、貴重な文化財の保護活用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財等周辺の除草、剪定 指定文化財の保存、管理、活用に対する補助 1月16日 文化財保護審議会開催 文化財関係書籍作成事業（印刷業務） 久米通賢関係資料修復事業（器物修復） 	昭和56年度	
56	開法寺跡発掘調査事業, 遺物整理事業	文化振興課	平成25年2月に府中町本村地区に讃岐国府跡の所在が確定し、讃岐国府跡との関係で重要遺跡である開法寺跡について、昭和45年から平成19年度までの調査により出土した遺物整理を進め、平成28年度からは開法寺跡の発掘調査をおこない、国指定史跡への追加指定を目指す。	<p>讃岐国府跡の重要地区である開法寺跡において、伽藍配置の特定や讃岐国府跡との繋がりと言った課題を解決するため、過年度調査で出土した遺物を整理・分析し、開法寺跡の発掘調査を実施した。</p> <p>元年度の発掘において、開法寺の中央建物の存在を裏付けられる複数の土坑が確認された。</p> <p>元年度発掘調査面積 約290㎡</p>	平成26年度	○ P35

主要事業の点検評価

I 生きる力をはぐくむ教育の充実

① 確かな学力の育成

No	事業名	担当課	事業評価			今後の方向性	
2	さかいでスクールサポート ティーチャー派遣事業	学校教育課	自己評価	学校からのニーズが極めて高く、派遣時数も638時間増となっている。様々な学校経営課題(学力向上、個別指導、生徒指導対応、教員の指導力向上など)を解決するため、退職教員を活用計画に基づき派遣できた。緊急派遣をはじめ、より迅速に問題解決に向けて対処するとともに、中長期的な課題解決に人的支援の観点から大きな成果を上げることができた。特に、教職員の働き方改革の視点からも学校の安定化や望ましい職場環境づくりにつなげることができた。令和2年度は、岩黒中を除く全小中学校への派遣ニーズに対応する。	A	継続	各学校のニーズを的確に把握し、退職教員の登録数とのバランスを考慮しながら継続していく。
			委員評価	数値目標を既に達成していることや働き方改革の中で、児童・生徒のみならず、若手教員を含めた全ての教員に対して効果が非常に大きいことなどから、委員評価としては、S評価とする。	S		

② 豊かな心の育成

No	事業名	担当課	事業評価		今後の方向性	
3	問題行動への対策 (人格形成と規範意識の涵養)	学校教育課	自己評価	<p>令和元年度の市内小中学校の全児童生徒における不登校生の割合は、小学校0.31%(昨年度0.38%)、中学校2.72%(昨年度2.85%)と前年度よりやや減少している。小・中学校間における不登校・不登校傾向にある児童生徒の情報共有や、同一校区内に配置しているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用を、さらに促進し、初期対応を丁寧に行い、新たな不登校を生まない努力が必要である。</p> <p>いじめについては、小中学校において、いじめの芽も見逃さず積極的に認知する意識が定着し、認知件数は昨年度より減少したものの、数値としては、依然として多い。暴力行為については、昨年度多く報告された小学校において減少した。規範意識や道徳性・社会性が高まる教育活動の充実に努め、組織的対応等について共通理解を図り、未然防止、早期発見・早期対応に取り組む。</p> <p>虐待については、学校等での虐待の早期発見・早期対応、被害を受けた子どもの適切な保護等について、関係機関と連携した対応を行う。</p>	A	<p>充実</p> <p>学校・家庭・関係機関が情報共有を行い、できるだけ早い段階で組織的な対応ができるよう今後も引き続き体制整備に努め、充実を図っていく。</p>
			委員評価	<p>元年度事業は、事業目的に即して実施できており、実績と成果に関しても計画が達成されていることから自己評価と同じくA評価とする。</p>		

③ 健やかでたくましい体の育成

No	事業名	担当課	事業評価		今後の方向性		
5	小児生活習慣病対策事業	学校教育課	自己評価	客観的な健診結果データに基づき、要指導および要受診の児童生徒数を把握することが可能になる。これを基に、家庭における生活習慣の見直し並びに学校における継続的な健康指導および栄養指導に役立っている。2次検診結果（肥満度18%、Ld1-C43%の児童生徒が改善）からも、児童生徒の生活改善の状況が視える。令和元年度の受診者率は小中合計93.2%（小4：96.0% 昨年度96.6%，中1：90.1%）であり、小学校4年生と中学校1年生の検診結果を突合することから、保護者の理解を得ながら（95%以上）の受診率をめざしたい。	A	充実	学校における、継続的な健康指導および栄養指導に加え、家庭での生活改善等、当該事業の意義について継続し理解を求め充実を図っていく。
			委員評価	中学校1年生も検査の対象となったことは、非常に評価できるのでA評価とする。健診結果を突合し、傾向などを分析し、今後も充実させて欲しい。			

⑤ 人権・同和教育の推進

No	事業名	担当課	事業評価		今後の方向性		
7	私の考えを語る会 坂出市幼小中幼児・児童・生徒の人権展覧会	学校教育課	自己評価	両事業ともに、長年にわたり継続されている事業であり、毎年、児童・生徒が自らの身近な体験等を通じて人権に関する意見を発表し、相互に理解を深め、また学習活動成果の一端を展示することのできる絶好の機会となっている。聴衆者の感想やアンケート結果（人権意識が「高まった」(59.8%)と「どちらかといえば高まった」(37.9%)を合わせると97.7%)等から、概ね好評を得ており、目的が達成されている。	A	継続	長きにわたり継続されてきた伝統を維持しつつ、今後の実施方法については、アンケート等を参考とし、時代にあったよりよい方向性を見出し継続する。
			委員評価	アンケートを実施し高い満足度を得ていること、限られた予算の中で有意義な取り組みを続けていること、会場が変更になったが今までにない効果があったことなどから委員評価としては、S評価とする。	S		

II 夢に向かって挑戦する教育の充実

① 志をはぐくむ教育の充実

No	事業名	担当課	事業評価			今後の方向性	
15	心をはぐくむ講師派遣事業 (志をはぐくむ教育の充実)	学校教育課	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・文化、スポーツ等社会の多様な分野の第一線で活躍する人物の講演、実技指導、体験活動から、児童生徒は夢をもつこと、努力することの大切さ、人権尊重の精神を学んだ。 ・満足度評価においても参加者の99.1%が高く評価しており、生き方を考えるのに役立ったという感想をもっている。 ・これまでに各校3, 4回事業を実施している。今後講演だけにとどまらず、予算の範囲内で数回に渡ってワークショップをするなど実施方法の工夫に努め、より児童生徒が感動的に学べるように充実させていきたい。 	A	充実	<p>今後は、事業の在り方として講演だけにとどまらず、実施方法の工夫に努め、より児童生徒が感動的に学べるように充実させる。</p>
			委員評価	<p>アンケートを実施し高い満足度を得ていること、子どもたちにとって、憧れであり身近で影響力のある講師を招くことができていることなどから委員評価としては、S評価とする。</p>	S		

IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

④ 魅力ある学校施設の整備充実

No	事業名	担当課	事業評価			今後の方向性	
21	学校給食センター整備運営事業	教育総務課	自己評価	事業者選定から契約締結までの支援を受けるアドバイザー業務を委託し、建設地・事業手法の決定、実施方針・要求水準書骨子の公表、事業費の積算など事業者選定までの準備ができた。	A	充実	PFI法に基づき、優先交渉権者の選定、事業契約の締結、施設の設計・建設を行う。
			委員評価	元年度事業は、事業目的に即して実施できており、実績と成果に関しても計画が達成されていることから自己評価と同じくA評価とする。予算規模の大きな事業であるが、新しい事業手法での取り組みも含めて、事業の充実を図って欲しい。			
23	小学校教育用ICT環境整備事業	教育総務課	自己評価	平成25、26年度に整備した「小学校PC教室パソコン」の更新にあたり、タブレット端末をLTE通信で整備したことにより、授業での活用の頻度が高まった。 また、GIGAスクール構想実現に向けたネットワーク整備補助金の確保ができた。	A	充実	1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境の早期実現を図る。
			委員評価	当初の計画の実施だけでなく、前倒しになった1人1台端末整備の計画にも充分対応できていて、S評価としたいところだが、元年度事業としてはA評価とする。			

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

① 生涯学習のまちづくりの推進

No	事業名	担当課	事業評価			今後の方向性	
28	生涯学習フェスタ	生涯学習課	自己評価	令和元年度は、主に展示を行っている中央公民館と、ステージ発表を行っている勤労福祉センターの2会場に足を運んでいただけるように、新たにスタンプラリーの取り組みを行った。また、体験教室についても好評をいただいております、続けていきたい。	A	充実	引き続き、魅力ある体験学習を提供するなど生涯学習の振興に努めていく。
			委員評価	スタンプラリーの取り組みなど努力しているので、A評価とする。好評を裏付けるアンケート結果や、新しく始めたスタンプラリーや体験教室の参加人数などの実績を記載してもらいたい。			
29	交流の里 おうごし	生涯学習課	自己評価	令和元年度については、利用団体は増加したものの、地域の慰霊祭や文化祭、サウサリート短期留学でのウエルカムパーティー等の隔年行事が無く、年度末の新型コロナウイルスなどの影響もあり、利用実績としては、減少となった。数値目標には掲げてはいるが、令和元年度において、事業目的にも掲げている青少年の宿泊型野外活動施設として、市内小学校において、宿泊学習の利用をいただいた。今後も他の小学校にも利用していただけるよう取り組んでいく。 また、宿泊室へのエアコン設置や新たに体験プログラムを8コース増やし全10コースとするなどし、利用促進を図った。	A	充実	季節に応じたイベントの開催を行う他、増設した体験プログラムや、近隣に再整備を行った王越とんぼランドのPRを行い、王越町の魅力の発信や王越地区のにぎわいの創出を図っていく。
			委員評価	数値目標に掲げていない宿泊学習での利用など新たに実施できたものもあり、実績と成果に関しても概ね計画が達成されていることから自己評価と同じくA評価とする。			

② 家庭や地域における教育力向上のための支援

No	事業名	担当課	事業評価			今後の方向性	
35	青色パトロール運行活動事業	生涯学習課	自己評価	<p>各地域の実施計画に基づき計画的にパトロール活動が実施されている。昨今、児童生徒の通学時間帯、通学路等での不審者事案が多く発生している。その情報をFAXや電話により、青色防犯パトロール団体の代表に迅速に発信することで情報を共有し、重点パトロールに生かしている。また、「青色防犯パトロール団体情報交換会」を開催し、活動の意義や効果的なパトロール活動について研修を行い、地域のホットスポット（犯罪が起りやすい場所）パトロールの考え方を共有するとともに、各地区の状況や活動の担い手づくりなどの課題について意見交換を行った。安全・安心なまちづくりへの啓発効果が高く、今後も補助制度を継続したい。</p>	A	継続	<p>今後、情報交換会において各地区の青色防犯パトロールの実施状況について聞き取り調査等を行い、別の指標として用いることを研究していきたい。</p>
			委員評価	<p>委員評価としては、自己評価と同じくA評価とするが、別の指標として、防犯パトロール活動の実施状況等を表すことも考えてもらいたい。</p>			

③ スポーツの推進

No	事業名	担当課	事業評価		今後の方向性		
40	ラジオ体操普及推進事業	生涯学習課	自己評価	令和元年度は、新規広場の開設に向けてラジオ体操広場未設置の加茂地区でラジオ体操大会を開催したり、西庄地区での開催に向け協議を進めてきたが、新たな広場設置には至らなかった。しかし、小さなコミュニティにラジオ体操を行うためのCDおよびCDラジカセの貸出しを実施しており、現在、CD11枚、CDラジカセ8台を利用頂いている。	B	充実	指標における参加人数の計測については、各ラジオ体操広場の責任者の負担になることや正確性に欠けることから難しいと考えている。しかし、本市のラジオ体操人口をさらに増やすためには、新たな広場の設置や普及活動が必要であるため、そのための協議を自治会等と積極的に行っていきたい。
			委員評価	委員評価としては、自己評価と同じくB評価とする。指標として、参加人数を数値目標とすることを検討していただきたい。			
41	カヌーのまちさかいで推進事業	生涯学習課	自己評価	これまでの、施設整備、競技用備品の充実や専任指導員の配置により、インターハイで地元の高校が総合優勝を果たすなど、競技力の向上が図られている。昨年トレーニングセンター等の整備や湖岸の改修が完了し、施設が充実したことにより、日本代表による合宿も開催された。 また、昨年につき、東京オリンピック・パラリンピックに向けたハンガリーカヌーチームによる事前合宿が開催され、期間中には地元学生と交流が行われるなど、カヌー競技の魅力を発信できている。	A	充実	令和元年度は府中湖カヌー競技場においてトレーニングセンターの完成や湖岸の改修等で様々な成果を上げてきた結果が、競技力の向上や競技人口の増加に繋がったと考える。 今後も引き続き、更なる環境整備の充実化を行うと共に、全国に「カヌーのまちさかいで」を発信していきたい。
			委員評価	インターハイの総合優勝、カヌー競技人口の増加、環境整備の充実など大きな成果を挙げていることから委員評価としては、S評価とする。			

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	事業評価			今後の方向性	
43	図書館施設整備事業	文化振興課 図書館	自己評価	不足していた駐車場の拡充，エリア内の道路の整備，駐輪場の撤去・新設等の改修工事を実施。館内多目的トイレを改修し，障がい者等の利便性を図った。また，不審者等の対策として防犯カメラを設置して，安全に利用できる環境を整備した。	A	継続	利用者の安全，安心を最優先に考えた改修を計画的に行う。
			委員評価	事業目的に即して実施できており，実績と成果に関しても施設整備・防犯カメラの設置等が達成されていることから自己評価と同じくA評価とする。			
46	子ども読書活動推進事業	文化振興課 図書館	自己評価	ボランティアとの共働で効果的な事業が今年度も定期的に行うことができた。ボランティア育成講座を開催し，出前授業も県外から講師を招き，幼・中で効果的に開催し，子ども・保護者の読書のきっかけづくりとなった。児童書年間貸出数については，数値目標の達成には及ばなかった。前年度より減少したのは，システム更新・駐車場工事のための休館とコロナの影響により移動図書館が中止になったことが原因と考えられる。	B	継続	坂出市子ども読書活動推進計画に基づき，今後も市民協働で行事を開催を継続。子どもたちの読書への関心や意欲を高めるため，関連部局と連携し読書環境の充実に努めていく。
			委員評価	最終目標値には至っていないが，総合的に判断して，委員評価としては，A評価とする。	A		

No	事業名	担当課	事業評価			今後の方向性	
47	市民美術館企画展事業	文化振興課市民美術館	自己評価	瀬戸内国際芸術祭の開催年にあたって、計画性をもって対外的にもPRできる企画展を提案してきた。今回は2年度予定の開館35周年における美術館の将来像につながる内容を描きながら企画展に取り組んだ。	A	継続	郷土の作家シリーズなど、特色ある独自の企画展を継続し、本市の美術文化振興に努める
			委員評価	事業目的に即して実施でき、また、開館35周年事業に向けての準備も取り組んでいることから自己評価と同じくA評価とする。			
50	文化芸術事業	文化振興課	自己評価	作詞家・小説家の森浩美氏を招いての、地元演劇グループによる朗読演劇の公演とワークショップを開催。また、美術館では、本市出身の入谷麻友氏による「ギャラリーコンサート」を開催し、市民や本市に関わりのある人たちに芸術を鑑賞し参加する機会の創出を図った。	A	継続	本市の文化施設を活用し、幅広い世代の方々に多様で良質な文化芸術に親しめる機会の創出に努めていく。
			委員評価	多彩な催しを実施し、実績と成果に関しても計画が達成されていることから自己評価と同じくA評価とする。			

② 文化財の保護

No	事業名	担当課	事業評価			今後の方向性	
56	開法寺跡の遺物整理，発掘調査事業	文化振興課	自己評価	<p>讃岐国府跡が国指定史跡となり，保存活用検討会議で今後の保存・活用の方針に向けた本格的な検討が行われた。また，今後の追加指定を目指す開法寺跡では，報告書の刊行や発掘調査で，これまでの調査・研究における成果を収められた。現地説明会では多くの参加者が続いており，市民の関心拡大に大きく寄与した。</p>	A	継続	<p>開法寺地区の発掘・調査を継続し，史跡指定に必要となる開法寺の規模などの特定を目指す。</p>
			委員評価	<p>地域を中心に今後の保存・活用を図る活動が始まっており，当初の事業目的についても計画に即して実施できていることから，自己評価と同じくA評価とする。</p>			